

授業概要

社会政策は格差を緩和し、労働環境を整え、民主主義を実践するため国民にとって必要な政策です。この講義では前半で、社会政策の歴史や背景を学び、社会政策が具体的にどのような影響を私たちに与えてきたのかを学びます。後半では日本の雇用政策や社会保障制度の概要を欧米諸国との比較をしながら学びます。グローバリズムによって日本型雇用慣行の特徴だった企業内福祉が大きく変化した今、社会政策は国民の福祉を大きく左右するようになりました。本講義は身近なことから理解を深める社会政策論の入門講義です。

授業計画

第 1 回	私たちの暮らしと社会政策(ガイダンス)
第 2 回	社会政策の歴史(ドイツ)
第 3 回	社会政策の歴史(イギリス)
第 4 回	社会政策と慈善との違い
第 5 回	社会政策と経済政策
第 6 回	福祉国家と社会政策
第 7 回	福祉国家の歴史
第 8 回	福祉国家の経済思想
第 9 回	協同組合・労働組合
第 10 回	自由主義の変遷
第 11 回	新自由主義と社会政策
第 12 回	日本における雇用と労働政策
第 13 回	社会保障について(日本)
第 14 回	社会保障について(欧米)
第 15 回	労働生産性とワーク・ライフ・バランス政策
第 16 回	期末試験

到達目標

雇用政策や社会保障制度といった福祉国家の社会政策の意義と市場経済との関係を学び、歴史的経緯を理解したうえで、我々の身近な暮らしのセイフティー・ネットとしての社会政策の重要性を理解する。

履修上の注意

適宜課題や確認テストなどを実施することがあります。

予習・復習

Teams にあげた資料や配布プリントなどをよく読んで、自分の意見をまとめておくこと。

評価方法

期末テスト(60%) + 平常点(確認テストや課題など40%)

テキスト

特に定めない。資料やプリントをよく理解すること。